

地域で参加 舟形中学校運動会



4月29日、舟形中学校で運動会が開催されました。中学生の100m走などの各種競技のほか、今年度は町民の方も参加できる町民種目が追加されました。大人を参加対象とした「かりものレース」「保護者学年対抗綱引き」、小学生以下を参加対象とした「おかしとりレース」が実施され、地域ぐるみの運動会となり、会場は大いに盛り上がりました。
舟形中学校では今後も町民のみならずが参加できる「地域にとっても魅力ある運動会」を目指しています。

新庄・最上チーム 激走！山口選手



4月27日、29日、第68回山形県縦断駅競走大会が行われました。28日、新庄スタート地点を出発した新庄・最上チームは、粘り強い走りで行形町を通過。中継地点は熱狂の渦に包まれていました。
舟形町からは山口大陽（健康福祉課）が出場し、27日に古口（山形町）9.6km、29日には南陽（上山町）16.6kmを見事に走り抜き、チームに貢献しました。山口選手は、「今回の駅伝は厳しい暑さに棄権するチームもあったが、無事に襷をつなげて良かった」と話していました。

春の風物詩 田んぼのしろかき

5月中旬、町内の各地で田植えに向けてしろかきが行われていました。しろかきは、田に水を入れ土を砕いて均平にしていく作業です。しっかりとした稲を育てるため、田植えの前に行う重要な準備です。水をなみなみとたたえた鏡張りの美しい水田が、町内の至るところに姿を現します。



最上小国川流域の 地域づくりを推進

4月23日、中央公民館で最上小国川清流未来振興機構代表者会議が開催され、舟形町や最上町のほか、最上小国川流域産地協議会（会長 悪七幸喜さん）や小国川漁業協同組合（代表理事組合 長 高橋光明さん）など21団体が参加し、協定期間が延長されることが可決されました。



保・小・中が連携 より良い教育環境に



5月7日、学校運営協議会・保小中一貫教育推進委員会が開催され、教育環境について議論しました。

農業の担い手 認定農業者が一同に



4月30日、舟形町認定農業者協議会総会が舟形若あゆ温泉で開催され、34名が出席しました。

政策に反映される 統計調査



5月7日、舟形町役場で舟形町統計調査員協議会総会が開催されました。統計調査を円滑に遂行します。

最上小国川 クリーンアップ大作戦



5月9日、県、舟形町、最上町、小国川漁業協同組合などから組織される最上小国川清流未来振興機構（会長 悪七幸喜さん）と山形県建設業協会最上支部（支部長 柿崎和朗さん）のみなさんがボランティアで最上町から舟形町にかけて最上小国川のごみ拾いを行いました。これは、最上小国川のイメージアップと環境美化を図ることを目的としています。
最上町班と舟形町班は各2班に分かれ、合計4班78名で河川付近のごみ拾いを行い、可燃ごみ、不燃ごみ約1,090kgを回収しました。

大場清志さん 指導農業者士に認定

4月18日、大場清志さん（長沢第1）に山形県指導農業者士の認定証が県知事より授与されました。大場さんは農業委員や土地改良区理事を担い、地域農業の発展に貢献しています。
町の農業をけん引する意欲ある農業者としてさらなる活躍が期待されます。



町民生児童委員協議会 あいさつ運動

5月13日、舟形小・中学校でありさつ運動が実施されました。毎年5月13日の「民生児童委員の日」に行なっているもので、この日から1週間が「民生児童委員活動強化週間」となっています。
町民のみなさんの笑顔と安全安心のために活動していきます。



持続可能な 地域づくりのために



4月26日、第1回町内会長会議が開催され、今年度の事業について各課より説明を行いました。

バッジをつけて かもしかクラブ



5月16日、かもしかクラブ発会式が開催されました。1年間交通ルールを学んでいきます。

台湾東部沖地震被災地支援募金

町では、令和6年4月3日に発生した台湾東部沖地震で被災された方々を支援するため、義援金を受付しています。その経過についてお知らせします。

募金額 13,070円 (4月30日現在)

能登半島地震被災地支援募金

町では、令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため、義援金を受付しています。その経過についてお知らせします。

募金額 765,762円 (4月30日現在)

▼問い合わせ／舟形町総務課総務係 ☎ (32) 2111